

図書館報

聖隷クリストファー大学

第2号

2004.3

- ・本に親しむ（木下幸代）……1
- ・蔵書検索が変わりました……4～6
- ・漢字の落とし穴（願寿智）……2
- ・利用統計……7～8
- ・学校の図書館（小平朋江）……3
- ・教職員寄贈図書……8

本に親しむ

看護学研究科長 木下 幸代

最近の若い人々は本を読まなくなったという声を良く耳にします。つい十数年前までは、あらゆる知識や情報は書籍や雑誌の形をとって保管され、新しい知識はほとんど書物からもたらされていました。

しかし、インターネットが発達した今日、図書館に行かなくても必要な情報を入手できるようになりました。わからない事柄にぶつかり緊急に答えがほしいとき、インターネットによる情報検索はとても便利なものです。インターネットや各種メディアを通じて情報は洪水のように流されており、一方、日本では単行本や雑誌として出版されている書物も膨大な量にのぼります。とくに、看護・福祉の分野に関する情報は、科学の進歩や社会の変化に伴い増大するばかりで、新しい情報を追いかけるだけでも大変な努力を必要とします。このように、さまざまな形で手軽に知識や情報を得ることができるようになり、本を読むことはいつの間にか傍らに追いやられるような状況になってきました。

書棚にも机の上にもパソコンの中にもあふれる情報をどのように管理するかは、非常に大きな問題となっています。検索した情報のファイルが使われないうちに次のファイルが重なりそのままになってしまう

という経験は、多くの人がお持ちではないかと思えます。たいていの人の記憶の引き出し（頭の中）も同様であり、雑多なものが乱雑に押し込まれているのみで、必要に応じて活用できるという状態にはなっていません。

情報を得ることは何かについて考えるための第一歩ですが、問題はそれをいかに自分の糧としていくかにあります。本を読み、いろいろな人の考えや経験に触れることは、自分自身の幅を広げることであり、考える基盤をつくることにもつながっていくのではないのでしょうか。斉藤孝氏は『読書力』（岩波新書、2002年）のなかで、本を読むことの意味について、「自己形成のための糧」であり、「コミュニケーション力の基礎」であり、「思考力を培う」ものとして、読書の重要性を述べています。「ものを考える」ためには、読書は不可欠であり、その積み重ねにより人間としての成長があるといっても過言ではありません。いろいろな情報に振り回されるのではなく、自分のものとして理解し、そこから自分自身の考えを組み立てていくことが大切です。

図書館は過去から現在に至るたくさんの書物を集めており、とくに大学図書館は、専門分野に関わる

さまざまな雑誌や書籍を管理しています。今日の図書館では、書籍や雑誌などの情報の蓄積とともに情報を提供するサービスの充実が求められています。さまざまな情報ネットワークを通して自分の必要とする知識や情報が容易に得られるか、あるいは、情報を探すためにどのようなサービスがあるか、は図書館を評価する視点としてますます重要になっています。

1992年に開設された聖隷クリストファー大学は、看護学部のみ単科大学からスタートしましたが、その前に現在の看護短期大学部の前身である聖隷学園浜松衛生短期大学が1969年に開設されています。看護学の専門図書館としては非常に古い歴史があり、看護系の雑誌や書籍は他大学と比較しても非常に充実しています。10年を経過した2002年には社会福祉学部が増設され、福祉系の図書の整備にも力を入れ

てきました。今年4月にはリハビリテーション学部が開設されますので、医療・看護・福祉系の専門図書館として一層の充実を図っていくこととなります。

本が好きでよく図書館に通っているという人もいれば、今までほとんどなじみがないという人もいるかもしれません。大学での学修は自分で考える基礎を養うことが第一義ですから、手持ちの教科書やインターネットの情報だけで思考を発展させようとする、どこかで壁にぶつかるのではないかと思います。課題を与えられ何についてどのように探したらいいかわからない、あるいは何を課題としたらいいかわからない・・・、そんなとき、図書館に行って最新の雑誌や古い書籍をばらばら繰ってみると、たくさんの発見があるはず。日ごろから図書館に親しんで、自分の言葉で考える力を身につけることを期待しています。

漢字の落とし穴

看護学部助教授 顧 寿智

日本に留学するにあたり、私は日本語があまり分かりませんでした。研究をする際には英語を使って何とか進めることができました。そのほかに、標示や看板などは漢字で書かれているので、たとえば、大学の図書館、研究棟、付属病院など意味は中国人には大体分かります。他の外国人に比べて苦勞は少ないと思いました。ある日、ノートブックを買うために“本”の看板がある店に入りました。しかし、雑誌と書籍しかありませんでした。ノートブックは見つからず、戸惑いました。「なぜ“本”と書いているのに」と思いました。実は、中国語の“本”の主の意味はノート、帳簿類（小学館の中日辞典により）です。小学館の日中辞典を見ますと、この看板の“本”の意味は中国語で書（書）、書籍（書籍）の意味です。

漢字は、6つある国連公用文字の一つに数えられ、中国はもとより、日本、韓国、シンガポールなどの国々で使用されています。現在のところ、漢字の最古の文献は「詩経」とされ、紀元前8世紀頃作成され、戦

国時代の諸子百家に使用されていたのではないかとされています。秦の始皇帝が中国を統一した紀元前221年には完成し、流布されていました。ただ、このときの文字は小篆しょうてんという書体で、その後の漢代には隸書れいしょが常用され、この隸書体を簡略化したのが現在の楷書体で、以後現在まで漢字の基準体になっています。

私たちが身近で目にする漢字は、だいたい次の3つの系統に分けられるでしょう。

簡体字 「簡化字」とも言います。中国では簡略された漢字が使われています。中華人民共和国成立後、漢字の簡略化が始まりました。繁体字と比べると、筆画が少なく、構造が簡単であることが簡体字の特徴です。例えば、「書」「聖」「隸」はそれぞれ「书」「圣」「隶」に簡略化され、だいぶ書きやすくなりました。しかし、あまりにも簡略化しすぎると、漢字そのものの美しさや「一目瞭然」を特徴とする漢字形態の情報の豊富さは損なわれることがあります。

^{はんたいじ}**繁体字** 簡略化をほとんど加えられていない漢字のことです。日本の漢字とほぼ同じです。

日本語用の漢字 中国語の簡体字を見て、ある程度の違和感を覚える日本人は多いと思いますが、実際のところ、日本語においても一部の漢字は簡略化されています。しかし、日本語の略字と中国語の簡体字の形は全く同じものもありますし、わずかな違いで異なっているものもあります。例えば、日本の漢字の「対」「処」「辺」は簡体字でそれぞれ「对」「处」「边」になります。さらに、異なったものもあります。簡体字は日本の漢字とも違う省略の形があり、なれないうちは戸惑いを感じます。たとえば、「机」日本では「つくえ」ですが、中国では「機」の簡略字に当たるのです。「手紙」という字は中国では「ちり紙、トイレットペーパー」という意味です。まったく違った意味になっています。それから、もっと大変なのが外来語です。日本にはカタカナと言う便利な外来語を書き表す文字がありますが、中国語は漢字のみで、音訳や意識をして表しています。クリストファーが「克里斯托弗」となり、コーラが「可乐(可楽)」、コンピューターが

「电脑(電腦)」など、すべてを漢字で表さなくてはならないのです。一方、日本は明治維新後、西洋の科学技術、思想哲学を導入する際に、各分野の概念や用語を表す数千数万の和製漢語が作られ、それらを活用して欧米文献の邦訳や日本語による解説書、紹介文献が大量に作成されました。中国人はこれらの日本語文献を通じて、近代西洋を学んだのでもあります。清朝末期から中国語の中には多くの「和製漢語」が移植されました。一例に「経済」も和製漢字であり、中国ではもともと「財務」と言う語を使っていました。多くの大学の「財務学部」は、次第に名称が「経済学部」となり、現在に至っています。

日本人にとって、中国語は漢字で書かれるので、話すのはともかく、読むのは簡単そうな印象を与えます。中国旅行をして、たどたどしくはあっても筆談で「会話」を楽しんだ人もいられるかもしれません。その際に、漢字が同じでも日中でまったく意味が違うものがあるので、漢字の落とし穴には要注意です。しかし、たまに日本語の中の漢字の知識で通用することがあります。そのときにはラッキーと叫びましょう。

学校の図書館

看護短期大学部講師 小平朋江

学校の図書館と聞いて連想されるものの中で、その魅力は小学生の頃から大学院生時代に至るまで変わらないものもあるが、利用する目的をめぐってのイメージは自分の成長とともに大きく変化してきた。校舎の中でも図書館という場に何となく他の教室とは違った、隠れ家的なイメージを抱いていたのは、せいぜい高校生くらいまでだったろうか。勉強が専門的になるにつれ、また、大学や大学院に進むにつれ、学校の図書館には小学生の私が想像もできなかった、膨大な情報を収集する機能があるということを知っていくことになる。そして、そういう使い方を覚えるにつれ、切迫した思いで通う場所というイメージが新たに加

わっていった。

文献検索はその切迫感の象徴でもある。現在はパソコンからいくらでも検索が可能になったが、昔はカードで検索していた時代もあった。検索するためのカードが入っている専用の引き出しを上から眺めていると、カードから文字が浮き出るように見えてきて、切迫した状況で時間がなければならないほど、それらの文字はカードから舞い上がり、私の目の前で乱舞していた。今になって思い返すと懐かしいが、そうやって自分の欲しい文献を広い図書館の本棚の中に探し当てたときは嬉しかった。多くの文献を探し当てるためには館内を一日中探し回ることになり、特に大学院生の頃に

は図書館で足を棒にして歩き回った記憶もある。それは、自分が何に関心を抱き、何を明らかにしたいのかを明確にするだけでなく、自分で自分を知るためにしなくてはならない作業だったようにも思われ、図書館で本を探しながら、実は自分自身を探していたのだろう。

学生時代は文献を探すために他大学の図書館を利用することもあったが、建物も含め、図書館にはそれぞれの大学のこだわりが見えるようで面白かった。私が卒業した大学の図書館には、今は亡き初代学長の名が付けられ、とても居心地が良かった記憶がある。小

さいけれど総合大学だったため、これまで見たこともなかった分野の本や古い蔵書は私の目を引き、背表紙を眺めているだけで飽きなかった。

学校の図書館をめぐって、どんなに新しい体験が加わっても、小学生の頃から私の記憶の中にある図書館は変わらないような気がする。学校の図書館は、家には置いていないような本に触れ、飽きることなく眺めたり、読ませてもらえるところだった。この文章を書くために記憶をたどってみると、こんなふうにして学校の図書館に育ててもらった部分があるのだという気がしてきた

蔵書検索が変わりました

図書館システムの変更に伴い、OPAC（オーパック：オンライン蔵書目録）が変わりました。今まで別のシステムだった大学図書館と第二（旧短期大学）図書館の蔵書が一度に検索できます。図書館や学内はもちろん、自宅のパソコンからも検索できます。

● 利用法

1. 大学図書館ホームページ左のメニューから「蔵書検索(図書・雑誌・視聴覚)」をクリック

聖隷クリストファー大学図書館
Seirei Christopher College Library

利用案内

- 利用案内
- 交通アクセス
- 開館日案内
- 学外者の方へ

お知らせ

- 図書館からお知らせ
- 図書館報
- OPAC講習会

蔵書検索

- 新着図書案内
- **蔵書検索(図書・雑誌・視聴覚)**
- 受入雑誌一覧
- 受入新聞一覧

リンク集

- 外部データベース
- リンク集



聖隷クリストファー大学

専門領域支援環境

ようこそ、聖隷クリストファー大学図書館ホームページへ
本学図書館では、教員や学生さんのために、看護・保健・福祉をより幅広く、より専門的に学ぶための支援環境を整えています
わからない事がございましたら、お気軽に係員へお声をおかけください



図書館

蔵書数約8万冊。閲覧席142席。図書・雑誌・視聴覚資料をコンピュータで検索できます。視聴覚コーナーではビデオ・CD・DVDなどを視聴できます。

2. 検索画面

操作方法ヘルプ / 聖隷クリストファー図書館トップへ

検索

キーワードを入力
(スペースを間に入れるとアンド検索*)
→ [検索] もしくは [Enter]

*「がん看護」と入力するより
「がん」と「看護」をスペースを挟んで
入力した方がヒットする件数が多い

● 検索対象: 図書 雑誌 視聴覚 巻号タイトル

● キーワード検索範囲:

● 検索条件:

検索の範囲を絞れる
チェック [] を外すと対象外

検索項目毎の入力欄を表示する

入力したキーワードの条件

履歴表示

履歴表示は他に「なし・10・全件」が
選べる
絞込検索に利用

操作方法ヘルプ / 聖隷クリストファー図書館トップへ

Copyright (c) 1994, 2002 Ricoh Company, Ltd.
All rights reserved.

3. 結果表示

操作方法ヘルプ / 検索へ / 聖隷クリストファー図書館トップへ

検索結果一覧

● 検索条件:
KEYWORD2=(看護 AND がん)

● 結果件数:
図書 195件 / 雑誌 5件 / 視聴覚 3件 / 巻号タイトル 47件

検索結果：スクロールすると下のほうに雑誌・
視聴覚の検索結果も表示されている

読みたい本の書名をクリック

図書 1-50(195件)

次へ

1. Do Notで学ぶ眼科看護のしてはいけないこと. 根木 昭 編. メディカ出版. 2002.
2. 悪性腫瘍のアセスメントと看護. 大西和子 著. 中央法規出版. 2003(シリーズ知っておきたい最新看護技術).
3. 新しいがん看護. 大場正己 [ほか] 編著. 遠藤恵美子 [ほか] 編著. プレーン出版. 1999.
4. 家で死にたい: 家族と看とったガン患者の記録. 川越 厚 著. 保健同人社. 1992.

4. 詳細表示

図書目録情報

書誌

- 書名 Do Notで学ぶ眼科看護のしてはいけないこと
- 著者名 根木 昭 編
- 出版 吹田：メディカ出版, 2002. 01
- 刊年 2002
- 形態 iii, 153 : 21cm
- 出版国 日本
- 著者情報 根木 昭 編 (ネギ, アキラ)
- 件名 眼科学
- 番号 NCID:BA55822523
ISBN:4840403139

下線部分には関連情報へ
リンクが張られている

[所在] でどこにあるか確認
開架＝図書館
第二開架＝5号館第二図書館
本は請求番号順に並んでいる
わからなかったらカウンターへ

所蔵

巻号	刷年	所在	請求記号	資料ID	状況(返却予定日)	備考
1		第二開架	N269/DO//	00046767		
		開架	N269/DU/	30035497		

貸出中の時は予約が出来ます
カウンターまで

※探したい資料の情報(発行年・出版社・著者など)をある程度知っていたり、より絞り込んだ検索をしたいときは
検索画面の検索項目毎の入力欄を表示するをクリックすると、下のような詳細な画面で検索できる

●検索対象: 図書 雑誌 視聴覚 巻号タイトル

●キーワード検索範囲: タイトル・編著者名・件名

●キーワード:

●タイトル:

●編著者名:

●件名:

●出版社:

●出版年: から

●和洋区分:

●言語:

●請求記号:

●ISBN:

●ISSN:

●新着: 日以内

●資料ID:

そのほかにもブックマーク機能や絞込検索の機能もあります。
検索結果が少ない場合は、表記やキーワードを変えてみましょう
(子供→子ども、小児など)。
画面上のヘルプやOPAC横にあるマニュアルを参考にどんどん
検索してみてください。
わからないことがありましたら職員に遠慮なく声を掛けてください。

利用統計

1. 2002年度の貸出状況

貸出延べ人数と冊数

利用者別	大学図書館での貸出			短期大学図書館での貸出		
	人数 (人)	冊数 (冊)	在校生1人あたり貸出(冊)	人数 (人)	冊数 (冊)	在校生1人あたり貸出(冊)
看護学部 1年	641	1,142	9.0	37	53	0.4
看護学部 2年	702	1,449	12.7	12	22	0.2
看護学部 3年	813	1,634	13.4	30	34	0.3
看護学部 4年	994	1,915	15.2	14	23	0.2
科目等履修生	9	19	—	0	0	—
大学院生	93	215	16.4	2	2	0.2
看護学部 計	3,252	6,374	12.7	95	134	0.3
社会福祉学部 1年	360	677	6.9	14	19	0.2
看護短期大学部 1年	199	353	3.0	41	75	0.7
看護短期大学部 2年	573	1,184	9.9	295	535	4.5
看護短期大学部 3年	566	1,243	12.1	309	633	6.1
助産学専攻科生	304	612	7.7	53	92	5.4
看護短期大学部 計	1,642	3,392	9.6	698	1,335	3.8
専門学校生	111	203	2.6	7	8	0.1
学生合計	5,365	10,646	10.3	814	1,496	1.4
教職員	482	1,162	6.9	120	258	1.5
合計	5,847	11,808	9.8	934	1,754	1.5

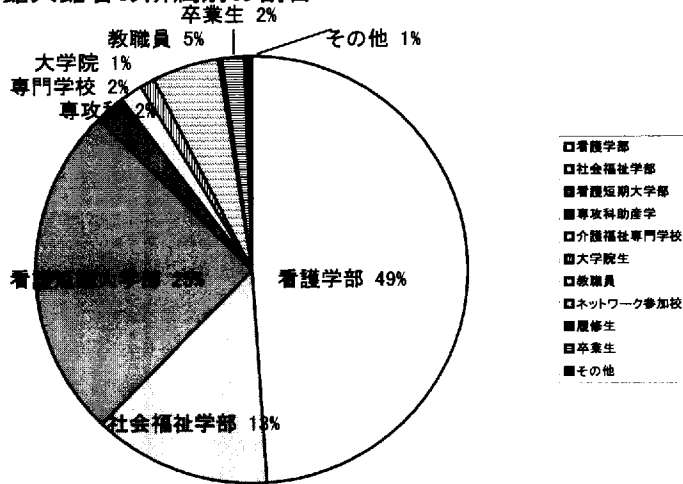
2. 2002年度大学図書館入館者数 (2002年4月～2003年3月 入退館システムによる統計)

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
看護学部	1,189	2,081	2,157	3,485	536	1,248	2,375	2,314	2,666	2,437	1,722	166	22,376
社会福祉学部	337	552	663	1,186	61	116	689	658	561	737	186	28	5,774
看護短期大学部	317	1,059	1,426	1,537	553	1,430	847	645	924	1,830	899	335	11,802
専攻科助産学	23	157	187	87	34	11	24	20	153	281	194	70	1,241
介護福祉専門学校	37	54	46	123	41	84	48	59	115	107	17	8	739
大学院生	42	73	60	56	25	41	36	35	42	41	32	13	496
教職員	235	257	291	228	119	175	241	198	186	162	137	85	2,314
ネットワーク参加校	3	3	4	4	0	0	8	0	0	0	0	3	25
履修生	0	2	3	6	1	3	0	0	0	0	0	0	15
卒業生	38	73	96	80	75	98	89	76	62	78	97	23	885
その他	7	20	21	34	20	35	36	10	4	32	12	12	243
合計	2,228	4,331	4,954	6,826	1,465	3,241	4,393	4,015	4,713	5,705	3,296	743	45,910

* 1人当たりの入館回数:看護学部:44.5回, 社会福祉学部:58.9回, 看護短期大学部:34.9回
専攻科助産学:73回, 介護福祉専門学校:9.3回, 教職員:13.8回

大学図書館入館者の所属別の割合



教職員寄贈図書

2003年4月～2004年2月

- 深瀬須加子（学長）：「同和問題の終焉」（同和文献保存会編著）ほか10冊
 島山 龍郎（図書館長）：「社会福祉援助活動における方法と主体」（山崎美貴子著）
 佐柳 文男（宗教主任）：「内村鑑三の遺産」（鈴木俊郎編）ほか12冊
 安孫子誠也（看護学部）：「アインシュタイン相対性理論の誕生」（安孫子誠也著）
 鮫嶋 道和（看護学部）：岩波新書、岩波アクティブ新書 71冊
 日経バイト, 日経システム構築, 日経コミュニケーション, 日経コンピュータ（雑誌）
 豊島由樹子（看護学部）：「リハビリテーション看護の課題」（日本リハビリテーション看護学会編）
 平野美津子（看護短期大学部）：「たくさんの愛をありがとう」（平野美津子著）
 加藤伊千夫（看護短期大学部）：「アルコールクス・アノニマス 成年に達する」ほか5冊
 河内 正弘（就職センター）：「トータルケア」（河内正弘著）
 （敬称略）

ほか、外部団体等よりたくさんの寄贈を受けました。ありがとうございました。

◆◆◆ お知らせ ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

- ◇ 大学図書館の改修工事が春期休業期間中に行われます。このため大学図書館は4月6日（火）まで閉館となります。ご不便・ご迷惑をおかけしますがご協力お願いいたします。
- ◇ 5号館西3階の第二図書館（旧短大図書館）は2004年度も引き続き開館することとなりました。入館システムはありません。かばん類をロッカーに入れてそのままお入りください。